

支 通 部 信
同 舟
No 16 6 月 号 6月6日編集発行
東京都宅地建物 取引業協会 府 中 支 部 編集兼発行人 高野 豊次

◎六月定例理事会開催

- 一、と き 六月五日午後四時半より
- 一、と ころ ダイワ不動産
- 一、出席者 榎峠、辻、高野、小林、石黒、山村、平井、結城、各理事及び加藤監査

要領次の通り

一、協議と伝達事項

(イ) 三多摩地区連絡協議会の件

辻理事より規約を読みあげ説明あり一同これを了承した。

(ロ) 会員名簿配付の件

府中支部会員名簿及び支部規約が印刷出来上りにつき会員に、もれなく配付することに致したき旨、山村支部長より説明あり。

(ハ) 幹旋手数料表無償配付の件

手数料表は一部五拾円なるも組合経費をもつて支弁につき組合員に無償配付することとし度き旨支部長より説明あり、尙これが額縁は府中三扇堂に於て一ヶ七百円をもつて販売あり。

(ニ) 本部各部員任命の件

急拠本部へ報告を必要とする為左記の通り、支部長一存に於て各部員を決定したるにつき事後承認を求め度く開陳あり、一同これを了承した。

本部各部員次の通り

網紀部部員	山岸 正治
無免許対策部部員	角田 靖
総務部々員	辻 金吾
企画部々員	加藤 武
経理部々員	榎峠 優
組織部々員	山村 馬太郎
(組織副部長となる見込)	
報道部々員	高野 豊次
指導部々員	結城 等
調査部々員	吉田 光宏
防犯部々員	内山 一彦
厚生部々員	平井 進二郎

人と店

不動産業の業態を大別すると手数料のみにより経営する者と、買取りと手数料を併行するもの、又買取販売専門の三つがある。

その内最も理想とするものは買取販売かもしれぬがこれには大資本を必要とし、到底望むべくもなく、吾々階級としては買取りと手数料を併行する業態が一番望ましいところである。

ところで府中市幸町にある金子商事は将に吾々が羨望する業態そのもので、店主金子重次君が一人で悠々気楽に商売を続けている。

氏は東京中野の産で本年三十八才、日大工業電気科を卒業後二十年の長きに亘り中野で電気商を經營しておつたが仕事の仕事だけあつて陽の目を見る機会が少く、従つて健康もすぐれぬ勝ちで到々昭和三十六年不動産業に切替えた。そして急ぐことなく徐々に建売やら買取りをやるうちに、いつとはなく大きな基礎を築きあげた様である。

氏の最も良いところは事業に対し絶体無理をしないことが唯一の信条らしくこれが今日の成功を遂げた所以かもしれない。

知る人ぞ知る民謡の大家で宴酣となれば必ず十八番を出さねばおかぬ特殊芸があり趣味としては庭園、植木、花卉の類だという。家庭には夫人のほか二男一女あり、以て自重自愛を望む。

◎消息

高野不動産営業所移転

高野不動産本店は従来府中市本町四丁目十二番地(才三中学校前)だつたが今般府中市本町一丁目九番地(鎌倉街道 バス停府中本町駅前)に移転、五月十四日より同所で開業した。

因みに電話は局局四二二番 夜間局局六五四九番支店由木三〇番である。

八広不動産北川氏勤務替え

八広不動産勤務北川氏は今回たま土地に勤務替えした。

◎編輯後記

○内閣が変つた。変つた途端に抱負というものを発表するが抱負を実行に移すことには勇氣がいる。

○云うは易く行ひは難し、昔からきまり文句だが、言行一致はむづかしい、ものと見える。

○多摩川の水を一片の木材でせきとめることは出来ないと同様、所謂世間の諸情勢を改変することは多摩川の水をせきとめるよりも更らにむづかしいかもしれない。

昭和四〇年六月五日夜

高野 しるす。